

第2時限問題 数学

1 次の(1)から(5)までの問いに答えよ。

(1)  $5 - 2 \times (-4)$  を計算せよ。【B】

(2)  $\left(-\frac{1}{2}\right)^2 \div \left(-\frac{1}{14}\right) + \frac{1}{2}$  を計算せよ。【B】

(3)  $3 \times 4 - (-2)$  を計算せよ。【A】

(4)  $2a - \frac{5}{6}a - \frac{3}{8}a$  を計算せよ。【A】

(5) 次のア、イの中から正しいものをすべて選んで、そのかな符号を書け。【A】

ア 絶対値が3より小さい整数の個数は3個である。

イ 3つの平面P, Q, Rがある。平面Pと平面Qが平行であり, 平面Qと平面Rが平行ならば, 平面Pと平面Rは平行である。

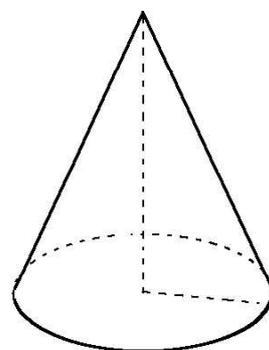
2 次の問いに答えよ。

クラス会の費用を集めるのに全体で 800 円余る予定で一人 1700 円ずつ集めたが、予定よりも全体で 8000 円多く費用がかかったので、一人 300 円を追加して集めたところ、ちょうど支払うことができた。このとき、クラス会でかかった費用は全部で何円か。【A】

3 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

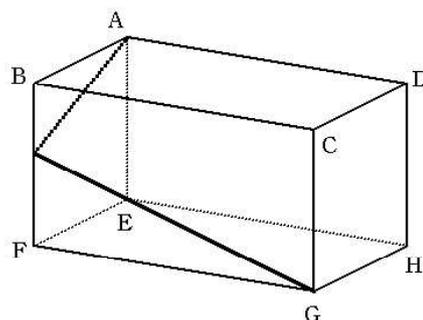
(1) 図は、高さ  $12\text{ cm}$ 、母線の長さ  $13\text{ cm}$ 、底面の半径  $5\text{ cm}$  の円すいである。

この円すいの側面積は何  $\text{cm}^2$  か。【A】



(2) 図は、 $A, B, C, D, E, F, G, H$  を頂点とする直方体で、 $AB = 2\text{ cm}$ 、 $AD = 6\text{ cm}$ 、 $AE = 4\text{ cm}$  である。また、 $P$  は辺  $BF$  上の点で、 $AP + PG$  の大きさは  $P$  の位置によって変わる。

$AP + PG$  の大きさが最小になるときの  $AP$ 、 $PG$  を解答用紙の展開図に表せ。【B】



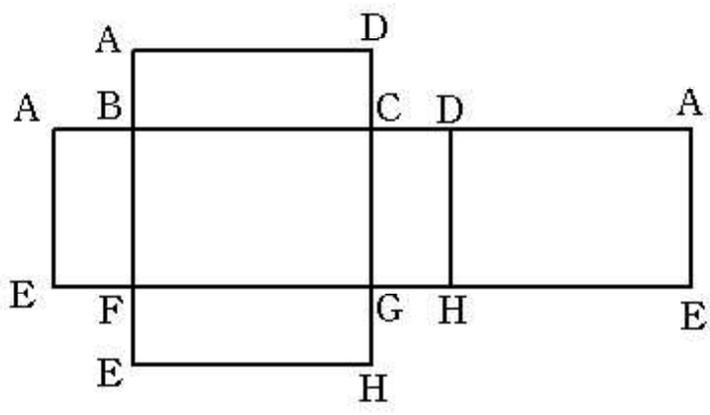
第 2 時 限 数 学

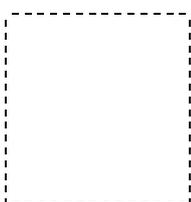
1	( 1 )	
	( 2 )	
	( 3 )	
	( 4 )	
	( 5 )	

1


2	
---	--

2
---

3	( 1 )	
	( 2 )	

3


1年	組	番	氏名		得点	
----	---	---	----	--	----	--